

【会議録（要約筆記）】

■案件名：信越病院

■会議名：第4回 信濃町立病院再整備基本計画策定委員会

■日時：2020年8月21日(金) 15:30~17:00

■場所：信濃町役場 第1会議室

■参加者

委員：【医療及び福祉等に識見を有する者】

丸山弘之

【公共的団体等の代表者又は構成員】

池田昭二郎、北村勇、高力一浩、原山公平

【公募委員】

出浦洋子、大下彩子

【学識経験者】

松村修

(※五十音順：敬称略)

信濃町：横川正知（町長）、森茂樹（信越病院長）、外谷場佳子（信越病院事務長）、

北村勝博（同事務局総務係長）

シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社：高田三四郎

1. 開会

2. 挨拶

松村委員長より挨拶を行った。

3. 会議事項

(1) 病院再整備計画への提言について

事務局より提言書（案）の説明を行った。以下、質疑等をまとめる。

【最終稿に対する意見】

- ・ 往診科や訪問科などの訪問診療について、患者をバラバラで診るのではなく、在宅医療をしっかりと連携して診ることができるのか分からない。前回、在宅医療を充実させるため往診科や訪問科を追記するようお願いしたが、診療科として掲げないのか。
- ▶ ご指摘頂いた事は承知している。いわゆる内科や外科を標榜する際に医療法でルールが定められており、制限がある。当院では、訪問看護科に1名の看護師を配置して、訪問看護や往診関係の調整をしている。また、病院で診ていただいた内科のA先生に家に来ていただくよう主治医制をとっている。地域連携室等も関わり、治療や介護の対応をしている。訪問科として標榜できないが、患者のニーズに合わせた病院の診療体制をとっていく。上から3つ目の黒四角の「地域包括ケアシステムを活用して対応する」という文章に意味を込めている。

- ▶今の体制として整っていると認識しているのか。
- ▶地域連携室には社会福祉士も配置しており、院外のケアマネジャーや他施設と連携をとっている。今後、時代に合わせて変化する必要があるが、現状でスムーズに連携できていると考えている。
- ・前回、議題に挙げられた病児保育について、提言書（案）に記載されている複合施設という言葉に意味が込められているかもしれないが、「例えば病児保育など」という文言を付け加えて欲しい。
 - ▶確認として、別紙の「病院建物の一部を複合施設とすることの利点を検討すること」に「病児保育」という文言を追記するのか。
 - ▶病児保育施設を含めて「複合施設」という表現ならば、その文章に追記してほしい。そうでなければ「若い看護師が働きたくなる環境を追求する」という文章に追記してほしい。病院運営協議会での発言を踏まえると、「若い看護師が働きたくなる環境を追求する」という箇所に追記することでもよい。
 - ▶「病児保育」という文言を追記することで良いか。
 - ▶提言書に記載されていると良い。
 - ▶「若い看護師が働きたくなる環境を追求する」という箇所に「病児保育」を追記すると職員向けになり、「病院建物の一部を複合施設とすることの利点を検討すること」という箇所に追記すると町民向けになる。どちらかはっきりした方が良い。
 - ▶どちらが良いか、この場で議論して頂きたい。若いファミリー層を取り込むにはとても重要。
 - ▶町民の子どもが病気になった場合も預けることができたほうが良いと考える
 - ▶提言、提案の文言としては、町民全体としての「病児保育」の方が良いかもしれない。
 - ▶「病児保育」については、「病院建物の一部を複合施設とすることの利点を検討すること」に追記する。
- ・これまでに3回の会議をしている。1回目の会議資料について、様々な収支パターンの検証をされてきたと思う。信越病院整備事業計画によると町からの繰入金により黒字となる。介護医療院は介護事業となるため、地方交付税の措置から適用外となり、町一般財政の負担が大きくなることが課題として残る。また、介護医療院の検討した際、開院1年目から赤字なるという結果である。介護医療院が地方交付税の適用外ということと、収支バランス上、介護事業を撤退し、外来機能と一般病床32床の検討となっている。町から赤字補填の繰入はできないのかと考える。また、介護事業について近隣施設と連携及び代替施設を検討したと記載されているが、介護事業を撤退した場合の患者の受け入れ先について、町の説明では代替施設の用意が厳しいと判断され、療養病床を再検討することになっている。介護病床を撤退するならば、町で責任をもって支えてい

く事が筋だと考える。

- ▶介護医療院を廃止することについて、病院として医療を担うことが最重要と捉え、町から1億円以上の繰入のなかで、病院を維持する計画になっている。病院を含め町としても、今回の判断はつらい決断であったと考えている。今後は訪問看護等へ積極的に関わらなければならないと考える。
- ▶3番目の提言にある通り、町と連携を深める中で、お願いをしていきたい。

・住民説明会が終わった中で、住民の皆様の声が反映されているのか、ここで話し合っていないことがまだあるのか

- ▶住民説明会では、事前に想定したQ&Aを配布している。質問内容としては、冬の対応、道路環境、薬局がどうなるのか、災害時の対応、病院経営についての声が挙がっている。

・提言書の5番目について、町民には丁寧な説明を行っていくという表現はありがたいが、具体的にどのように説明していくのか。

- ▶今後、どうするのかは検討していきたい。
- ▶丁寧な説明ということについては、何度もお聞きはしている。理解しやすいように難しい数字を使わない方が良い。人口8000人での住民負担と、人口が減ったときの住民負担がどうなるのか、今後分かるように説明してほしい。

・町民説明会には、どのような世代の人たちが集まったのか。将来の町民になる人や将来の町民を育てる人は出席されたのか。

- ▶31日に開催した近隣住民の説明会には、子育て世代の方が出席されていた。その他の地区は比較的年齢層が高い方が出席されていた。
- ▶子どもたちにも分かるような冊子を配布し、これから信濃町の病院が新しくなることを説明してほしい。新しくなることをしっかり周知することが良い。
- ▶分かりやすい説明資料をお願いしても、どうしても難しくなる。役場が書くとしにくい資料になってしまう。お母さんたちが作成してはどうか。作成したものを役場に確認してもらい、配布する方が良いかもしれない。
- ▶地域おこし協力隊の方がチラシ等を作成しており、分かりやすい。お母さんの目線やお父さんの目線で分かりやすくした方が良い。若い世代には、広報や新聞を見る人が少ない。学校や保育園で配布してほしい。細かいことよりもデザインや分かりやすさを重視し、住民にどれほど負担がかかるか、病院がどのように出来上がって、どのように利用できるのか分かるものして頂けるとありがたい。
- ▶役場の職員に今言ったような特殊な技術を持っている人がいればよいと思っている。広報は若い人は見ない。

- ▶町民に分かりやすい説明資料を作成すること。
 - ▶若い世代がこれから年配者を介護する世代になっていく。地域包括ケアシステムの構築については若い世代にも大切なことだと考える。そこに関して、具体策を明記することと、別紙に記載されている。おじいちゃんとおばあちゃんが安心して死ぬことができること、自分たちの死について選択が持てること、それを家族がどう支えるのか、町民と一緒に説明してもらえると住みよい町になると考えている。
- ・提言の3番目「病院ものその一員として、在宅療養支援に積極的に取り組むこと」について、今まで見ると病院にも施設にも通っている、そして自宅で亡くなった場合、いつのまにか長野中央警察の鑑識が来ている。なぜ鑑識がきているのか、自然死で亡くなっている方にとって残念なこと。これが無くなる方法はないだろうか。
 - ▶総務省の役人から聞いたことがあるが、暴力で死んだという可能性が残るので、警察が入るらしい。中には1週間、警察が入り犯罪者扱いされる例もある。
 - ▶年間2～3人は、1人で暮らしている方が亡くなっている状態をヘルパーが翌日に発見する。どうしたらそういう方を少なくできるか考えなければいけない。1日も早く立派な病院が出来上がることを期待している。
- ▶厚生労働省が飯綱病院と信越病院が必要性的について発表をした。再度、厚生労働省は発表すると言っている。建て替える機会は、今しかない。この時期に町長が病院再整備について判断して頂きありがたいと思っている。
- ・今回頂いた意見を修正し、私と原山副委員長と事務局で任せて頂いて良いか。
 - ▶委員了承
 - ▶完成した提言書は、委員長と副委員長の2人で町長に手渡しする。提言書の写しについては、後日、事務局から委員に配布する。提言案を基本計画策定に向けて十二分に反映することができた。関係者の皆様に重ねて御礼を申し上げます。

4. 町長挨拶

- ・6月の中旬ごろから策定委員会でご意見を頂いた。前回出席はできなかったが、様々な角度からご意見を頂戴した。また、町民説明会は6回開催し、参加人数が少ないと感じているが、より丁寧な説明をしていきたい。計画を作る段階で箱モノをつくるだけであれば、比較的簡単である。一方で丁寧な説明ができるか、執行側として検討し、できる限りの対応をしていきたい。介護部分をどうフォローするか課題である。行政として第8期の介護事業保健計画でしっかりと対応したい。改めて御礼を申し上げます。これで終わりではなく、今後もさまざまなご意見

を頂戴したい。

5. その他

6. 閉会

以上